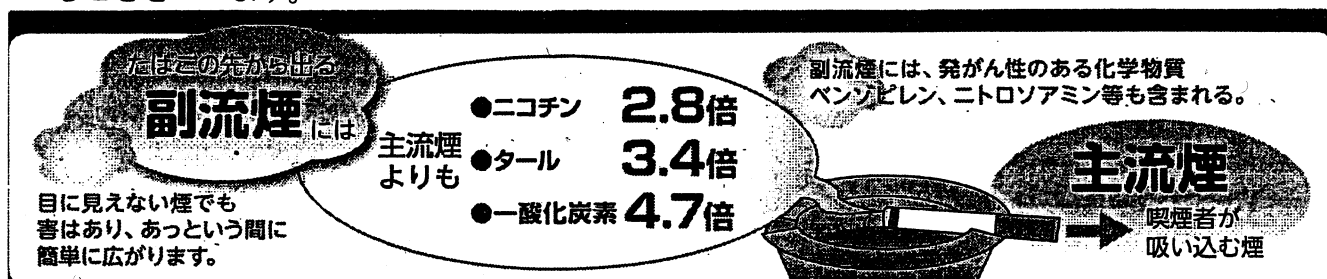


2 医学的な観点から捉える喫煙防止

(1) たばこの喫煙者以外への影響（受動喫煙による健康影響）

受動喫煙とは、室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。



子どもへの影響は大！

受動喫煙によって引き起こされる体への害
肺がん、急性心筋梗塞などの虚血性心疾患、乳幼児突
然死症候群、子どもの呼吸器感染症や喘息発作の誘発
など

年間約 6,800 人！

受動喫煙による死亡者数の推計
受動喫煙による肺がんと虚血性心疾患の死亡数は、
年間 6,800 人
そのうち職場での受動喫煙が原因とみられるのは約
3,600 人

〈パンフレット：職場の受動喫煙防止対策「すすめていますか？たばこの煙から働く人
をまもる職場づくり」(厚生労働省) から抜粋〉

(2) 喫煙の危険

○喫煙とがん死亡についての相対リスク

がん種	男	女
全がん	2.0	1.6
口唇・口腔・咽頭	2.7	2.0
食道	3.4	1.9
胃	1.5	1.2
肝・肝内胆管	1.8	1.7
膵臓	1.6	1.8
喉頭	5.5	—
肺	4.8	3.9
子宮頸部	—	2.3
腎盂を除く腎臓	1.6	0.6
尿路(膀胱・腎盂・尿管)	5.4	1.9
骨髄性白血病	1.5	1.0

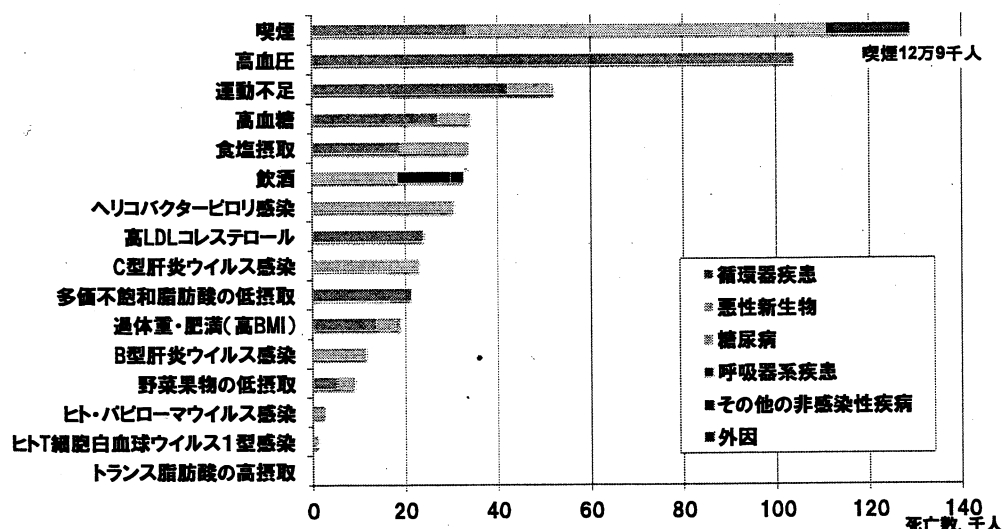
※ 喫煙によるがん死亡の相対リスクは、男性で
2.0倍、女性で1.6倍となっている。これ
は、たばこを吸う人のがん死亡リスクが、
吸わない人に比べて男性で2倍、女性では1.
6倍であることを意味しています。

相対リスク：たばこを吸わない人を1として、たばこを
吸う人のがんのリスクが何倍になるかを示す指標

〈国立研究開発法人国立がん研究センターによる〉

○非感染症疾患のリスク要因の推計

2007年の我が国における危険因子に関連する非感染症疾患と外因による死亡数



能動喫煙によって年間12～13万人が死亡していると推定されています。

喫煙による推定死亡者数に匹敵する危険因子は高血圧のみであり、喫煙と高血圧が日本人の死亡に大きく寄与していることが示されています。

また、がん死亡に限ると、能動喫煙によるがん死亡者の数は他の危険因子を大きく引き離して第一位であり、がん死亡の中心的な危険因子であることがわかります。

〈「禁煙支援マニュアル(第二版)」(厚生労働省)より抜粋〉

○能動喫煙・受動喫煙とがんの関連性

	全がん	肺がん	肝がん	胃がん	大腸がん	乳がん	食道がん	膵がん	前立腺がん	子宮がん	
										子宮頸	子宮内膜
能動喫煙	確実↑	確実↑	確実↑	確実↑	可能性あり↑	可能性あり↑	確実↑	確実↑	データ不十分	確実↑	データ不十分
受動喫煙	データ不十分	確実↑		データ不十分		可能性あり↑		データ不十分		データ不十分	データ不十分

2016年8月国立研究開発法人国立がん研究センターは、日本人の非喫煙者を対象とした受動喫煙と肺がんとの関連について、受動喫煙のある人はない人に比べて肺がんになるリスクが約1.3倍であり、肺がんリスク評価についても「ほぼ確実」から「確実」になりました。

〈国立研究開発法人国立がん研究センターによる〉